

情熱感じる完成度

県学校新聞コンクール



第70回県学校新聞コンクール(県NIE推進協議会、県高校文化連盟、大分合同新聞社主催)は、県内25の小中学校から35件、858点の応募があった。新聞部や生徒会などが継続的に発行する「学校新聞部門」で3件、調べ学習の成果などを新聞にまとめる「オリジナル新聞部門」で7件をそれぞれ最優秀賞に選んだ。最優秀賞受賞校の紙面を紹介する。



教育に新聞を

第70回県学校新聞コンクールの入賞校と新聞名

学校新聞部門	
最優秀賞	大分上野丘高/上野丘高新聞 大分豊府高/大分豊府新聞 杵築中/生徒会新聞 杵中タイムズ
優秀賞	佐伯鶴城高/佐伯鶴城新聞 国東中/国中TIMES 別府市東山小/東山子ども新聞
入選	玖珠美山高/みやま新聞 国東市安岐中/校報 暁雲
奨励賞	日田高定時制/「みんなで作る生徒の新聞」という新聞 姫島中/やはす 佐伯市明治小/広報新聞

オリジナル新聞部門	
最優秀賞	臼杵市野津中/地域調べ新聞 臼杵市下南小/下南防災新聞
優秀賞	竹田市緑ヶ丘中/狹町のキラキラしている大人新聞 大分市野津原小/食べ物変身新聞
入選	大分豊府高/大分豊府高校1年生OC新聞 大分市戸次中/修学旅行新聞 大分市大道小/学校行事をまとめよう
奨励賞	別府翔青高/総合的な探究新聞 大分市王子中/高校体験入学新聞 大分市戸次中/おすすめの曲紹介新聞 大分市鶴崎小/つるさき新聞・つるさき新聞・修学旅行新聞

学校新聞部門

1 上野丘高新聞

大分上野丘高

【審査評】
▽校内だけでなく地域社会に広く問題意識を持っている▽社会問題も取材している▽生徒会活動や部活動のみならずオリジナルの特集が面白い▽見出しの表現が個性的▽取材の深さが光っている
代表・森宗楓夫さん(2年、新聞部)顔写真



2 大分豊府新聞

大分豊府高

【審査評】
▽校内行事だけでなく社会情勢にまで目を向けており完成度も高い▽発行頻度が高く活動の活発さが感じられる▽レイアウトが良く見やすい▽見出しの表現がよく練られている▽遊び感覚も取り入れている
代表・佐藤史里沙さん(2年、新聞部)顔写真



3 杵中タイムズ

杵築中

【審査評】
▽レイアウトが美しい▽写真も大変目を引く▽記事と写真のバランスが良い▽見出しのレベルが高い▽発行頻度も高く学校の様子が生き生きと伝わる▽校内だけでなく高校や地域とのつながりも見られる
代表・川村あやさん(3年、前生徒会長)顔写真



オリジナル新聞部門

4 地域調べ新聞

臼杵市野津中

【審査評】
▽地域に目を向け現地でも取材している▽内容に読み応えがある▽一部に作り手の個性が出ていて楽しい▽レイアウトに工夫があり読んでみたくなる▽複数の視点で記事を組み立てている▽分かりやすい
代表・楠本玲大さん(1年)顔写真



5 下南防災新聞

臼杵市下南小

【審査評】
▽調べただけでなく自分たちの体験に根ざしたものになっている▽インタビュなどよく取材している▽防災の恐ろしさをデータや図で示しており読者によく伝わる▽目を引く見出しが印象的
代表・甲斐哲心さん(4年)顔写真



生活の中の感動、悲しみを大事に
佐藤由美子・県NIE推進協議会副会長
(大分市戸次中学校)

第70回県学校新聞コンクールで素晴らしい成果を収められた皆さん、おめでとうございます。ご指導いただいた先生方、応援して下さった保護者の皆さまにも感謝申し上げます。この1年、学校は新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。当たり前だと思っていた日常が決して当たり前ではないことを痛感し、今できることに精いっぱい挑戦し続けています。そんな中で制作された新聞…。学校行事の中止や、活動に制限がある中でも「新聞で今の気持ちを伝えたい!」という情熱を感じました。かえって、今回でなければ作れなかった新聞かもしれません。自分たちの住む地域や校内に目を向けたり、身近な問題を深掘りしたりと良い点もありました。これから、日々の生活の中の【事実】に感動する気持ち、喜びもあれば驚き、時には悲しみや怒りや、疑問を感じる心を大事にしてください。そして、多くの人に読んでもらうための工夫、【言葉を吟味し厳選する】ことを続けていってほしいと願っています。

- 審査員(敬称略)
佐藤由美子(県NIE推進協議会副会長、日本新聞協会認定NIEアドバイザー)
田辺玲子(県教育センター教科研修部指導主事兼課長補佐、同)
道中聡(県高文連新聞専門部専門委員長、大分舞鶴高教諭)
西裕一郎(同常任委員、大分豊府高教諭)
北崎貴寛(同、大分上野丘高教諭)
佐々木稔(大分合同新聞社執行役員編集局副局長)